がん化学（放射線）療法レジメン申請書（ver.4）

・記載不備がある場合は審査対象になりません。＊は記入不要です。

申請日	2026 年 9 月 2 日	受付番号	＊
診療科名	乳腺外科	がん種（コード）	＊
診療科長名		登録ナンバー	＊
申請医師名		承認日	＊
審査区分（下記をチェックしてください）		マスタ登録日	＊
通常審査を希望	■	マスタ変更日	＊
迅速審査を希望	□注 1）	最終改訂年月日	＊
迅速審査（患者追加）を希望（過去登録歴あり）	□注 1）	登録削除日	＊
HP でのレジメン公開の可否	可■　不可□		

注 1）迅速審査は患者限定となります。

がん種	レジメン名	実施区分	使用分類	適応分類
乳癌	Dose-denseAC 注2）	□ 入院 □ 外来 ■ 入院及び外来	■ 日常診療（試験以外） □ 単施設自主研究 □ 多施設自主研究 □ 市販後臨床試験 □ 治験 □ その他	■ 術前補助化学療法 ■ 術後補助化学療法 □ 通常化学療法 □ 大量化学療法 □ その他（　　）

・申請されたレジメンは原則共用ですが、科限定を希望する場合（治験や特殊な化学療法）は右にチェックしてください。 □

注 2）レジメン名の命名法：①疾患（臓器）②薬剤（多剤の場合はコンセンサスの得られた通称）③投与法、④臨床試験の場合は試験の名称または研究グループ名称―この順番に命名してください。（day8, day15 などの投与日がある場合、オーダリングシステム上は別レジメン名となりますので、承認後⑤として-day8 や-day15 が加わります。）

(a)投与スケジュール記載例

薬剤名	投与量	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
薬剤A	Xmg/m²	●																											
薬剤B	ymg/m²	●							●							●													
1コース期間		28日				目標コース数					□有（　コース）					■無(PDまで)													

(b)投与日のスケジュール記載例

投与順序	投与薬剤名（商品名）	投与量 量	投与量 単位	投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日 Day（丸数字は投与順番を記載） 1	2	8													
記載例	アロキシ注	0.75	mg	側管	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始	①															
	デキサート注	9.9	mg																					
	生食	100	mL																					
1	生食	250	ml	メイン	点滴		分	ルートキープ	①	①	①													
2	デキサート注	8.8	mg	側管	点滴	30	分		②	②	②													
	生食	100	mL																					
3	ゲムシタビン	1000	mg/m2	側管	点滴	60	分		③		③													
	生食	100	ml																					
4	シスプラチン	100	mg/m2	側管	点滴	60	分			③														
	生食	500	ml																					

化学療法投与スケジュール

レジメン名（登録名）	**乳癌　ddAC**
休薬期間※	※
レジメンコード※	※
対象疾患	**乳癌**
診療科名	**乳腺外科**
記入者名	

レジメン名記載例：　膵癌・ゲムシタビン・（weekly adjuvant）
①疾患名
②薬剤名あるいはレジメンの通称
③必要があればスケジュールやアジュバント等を記載の順にしてください。

抗がん剤名（一般名）	投与量	day1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
ドキソルビシン	60mg/m^2	■														■													
シクロホスファミド	600mg/m^2	■														■													
1コース期間	14	日				休薬期間					13	日				目標コース数					■有　（ 4コース）					□無（PDまで）			

メインの点滴や負荷輸液の薬剤（外液や維持液など）をレジメンマスタに登録するのは任意ですが、レジメンの一部として登録するとオーダーの際に便利です。

投与順序	投与薬剤名（商品名）	投与量		投与経路	投与方法	投与時間		その他コメント	投与日　Day（丸数字は投与順番を記載）													
		量	単位						1											
記載例	**アロキシ注**	**0.75**	**mg**	**側管**	点滴	30	分	抗がん剤投与30前より開始	①											
	デキサート注	**9.9**	**mg**																	
	生食	**100**	**mL**																	
1	**生食**	**250**	**ml**	**メイン**	点滴			ルートキープ	①											
2	**デキサート**	**9.9**	**mg**	**側管**	点滴	30	分		②											
	パロノセトロン	**0.75**	**mg**																	
	アロカリス	**235**	**mg**																	
	生食	**100**	**ml**																	
3	**ドキソルビシン**	**60**	**mg/m^2**	**側管**	点滴	15	分		③											
	生食	**100**	**ml**																	
4	**シクロホスファミド**	**600**	**mg/m^2**	**側管**	点滴	30	分		④											
	生食	**250**	**ml**																	

様式3

（審査の参考にしますので簡単に記載してください。）

基準項目	
適格基準	① 高リスク HER2 陰性乳癌患者 ② PS：0-1 ③ 過去 12 ヶ月以内に心疾患（虚血性心疾患・うっ血性心不全・コントロール不良の心室性不整脈）の既往がない ④ 治療開始前の心エコーで LVEF が 50%以上
開始基準	薬剤投与の可否を決定する項目を具体的に記載してください。 （血液検査データや身体所見など） ① PS 0-1 ② 好中球：1000/mm^3 以上 ③ 血小板：100000/mm^3 以上 ④ 過去 12 ヶ月以内に心疾患（虚血性心疾患・うっ血性心不全・コントロール不良の心室性不整脈）の既往がない ⑤ 治療前の心エコーで LVEF が 50%以上
投与量 変更基準	有害事象などで投与量を変更する際の基準を記載してください。 【休薬】 好中球：1000/mm^3 未満、血小板 100000/mm^3 未満 Grade3・4 の有害事象を認めた場合は、Grade2 以下に回復するまで休薬 Grade2 以上の末梢神経障害を認めた場合は、Grade1 に改善するまで休薬 【減量基準】 減量なし 【中止基準】 明らかな病勢進行：腫瘍の増大・新規病変出現 継続困難な有害事象を認めた場合

以下の①～③のうち、当該レジメンが該当する箇所にチェックしてください。

① 標準治療[注3)]である。または、標準治療に準ずる治療である ■

[注3)]標準治療とはエビデンスレベル「Ⅱ」以上であることを原則とします。

② 臨床試験の場合は IRB にて承認をうけている □

③ ①②いずれにも該当しない（通常審査での申請は不可） □

①、③の場合 エビデンスレベルを以下の表にチェックしてください。重要文献も添付してください。
また、当該レジメンの申請理由について記入してください。なお、③の場合は当該レジメンをどのような位置づけで実施しようとしているのか、ガイドラインに一応の記載がある、学会やコミュニティでのコンセンサスがある、診療科内でのコンセンサスがある、など、そのレジメンの信頼度について申請者がどのように判断した上で申請しているのか、が具体的に分かるよう申請理由に記載して下さい。

Level	内容	チェック欄
Ⅰ	Phase Ⅲ のランダム化比較試験の結果、優越性もしくは非劣性を示したもの	■
Ⅱ	Phase Ⅱ の prospective study の結果により、標準治療になりうることが学会などで広くコンセンサスを得ているもの	□
Ⅲ	Phase Ⅱ などの prospective study	□
Ⅳ	Retrospective study (case control study など)	□
Ⅴ	Case reports	□
Ⅵ	専門家の意見	□

申請理由[注4)]	再発高リスクの HER2 陰性乳癌患者に対する術前・術後療法として、AC→PAC の順次投与であるが、ペグフィルグラスチムを併用し用量を維持したまま、投与間隔を短縮する dose-dense 療法が 3 週毎に投与する通常投与と比較し、乳癌の再発や死亡のリスクを低減させることが示されている。乳癌診療ガイドライン（2022 年度版）においても、強く推奨されており、本レジメンを申請する。
参考文献	① Citron ML, et al. Randomized trial of dose-dense versus conventionally scheduled and sequential versus concurrent combination chemotherapy as postoperative adjuvant treatment of node-positive primary breast cancer: first report of Intergroup Trial C9741/Cancer and Leukemia Group B Trial 9741. J Clin Oncol. 2003 Apr 15;21(8):1431-9. ② Early Breast Cancer Trialists' Collaborative Group (EBCTCG). Increasing the dose intensity of chemotherapy by more frequent administration or sequential scheduling: a patient-level meta-analysis of 37 298 women with early breast cancer in 26 randomised trials. Lancet. 2019 Apr 6;393(10179):1440-1452.

[注4)]このレジメンの妥当性や必要性を含め、申請理由を審査委員にわかりやすく記載してください。
無記入の場合には、審査対象となりませんのでご注意ください。なお、迅速審査の場合には、レジメンの説明に加えて、当該患者背景や使用する理由を記載してください。

②の場合

以下を記入してください。

1.試験名 2.試験期間 3.phase 4.IRB 承認の有無［予定］
プロトコール概要